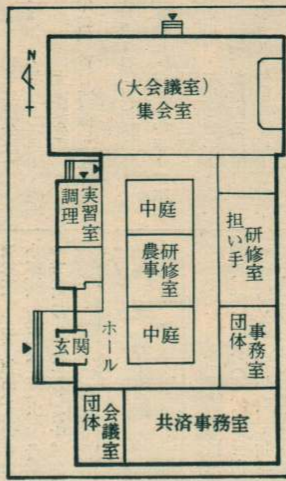


多目的研修集会施設 「農業会館」建設に着手

市では、「農業会館」(仮称)の建設に着手しました。この会館は、市単独事業で建設される農業団体の事務所と、国の補助事業の多目的研修集会施設を併設するものです。

根下戸新町の農協本所西側に建設される「農業会館」(仮称)は、九月二十七日から工事が始められており、来年三月には完成する予定になっています。農業会館は、農業に従事する方と、他の就労者の相互交流、研修会などに利用されるほか農



農業会館の平面図

業生産技術の研修・指導、農業婦人各層の生活改善・調理実習などに使用する目的で建設されているものです。建物は、地場産業の木材を使用した木造一部鉄骨造り平家建てで、一千六百一十一平方メートルに床面積九百四十九平方メートル、総事業費約一億二千万円となっています。

施設の概要

集会所(大会議室) 三百人を収容できるこの集会所は、地域住民の相互交流、農事講演会、長期計画に基づく新規作物等の導入普及のための研修会のほか、各種生産作物集団や機能集団の総会、技術研修会などに使用されます。和室四十二畳を有しており、中核農家、後継者、婦人などの

営農研修や、兼業農家の技術研修などに使用されます。営農相談、指導などに使用されます。調理実習室

食生活改善のための調理実習や、地場産物の加工など基礎知識を習得する場として使用されます。展示ホール

営農技術情報、気象情報を提供するほか、農機具、農産物の展示に使用されます。事務室・会議室

大館地方農業共済組合など農業団体のための事務室、会議室として使用されます。これらの事業を定期的に行うためには、どうしても農業指導機関の指導が必要となるため、農業試験場、農業改良普及所などが近接する根下戸新町に建設されることになったのです。

農業従事者のみならず、農業者とその他の就労者との交流をはかり、明るく豊かな、住みよい町づくりに役立つものと期待されています。

「教育の日」記念論文 子供たちに伝えたい二つのこと 最優秀論文沓沢圭子さん

「教育の日」を記念して行われた記念論文のうち、最優秀となった沓沢さんの論文を前号に引き続いて紹介します。



次に、第2の背骨を正常に发育させることの重要性について述べてみたいと思います。最近、側湾症の子供が増えています。背骨が右か左かにグニャリと湾曲している原因不明ということです。これについて竹内敏明氏は「からだに語ることば」の中で、「これは果して骨の病気ののだろうか？姿勢という観点から見れば、これはからだの上に伸びようとする力がなくなって、重力のままにグニャリと上半身が落ち込んできた姿勢だといえる。その先駆は街にはんらんでいる。若者たちのほとんどはあごが出、胸が落ち込み、プランプラン歩いている。あの上体がもっと力が抜けてきたら、今度は右か左に曲がるよりほかはない。事実そうになっている若者がいる」と忠告しています。体が上に伸びようとする力志向を奪っているのはだれか、そして何かに気付き、いかに体を伸び伸ばし解きほぐし、息を深く吸うかが文化と教育の一番基本的な課題ではなからうかと呼びかけています。いまの子供たちは、それぞれに自分らしさを発揮する領域が非常に狭

められていると思います。子供たちは、そのモヤモヤとして表現しにくいものを自分の体で表現している。つまり、なぜだかわからないけれど生き生きとした生命力が自分から抜け落ちていくのを感じるとき、上へ伸びようとする志向がだんだんと薄れていくのではないのでしょうか。もっとも子供たちが「自分らしさ」を発揮できるような社会を目指して、大人の真剣な努力が必要とされていると思います。そして、背骨のゆがみは気力の喪失ばかりでなく、神経系、筋肉系、骨格系、循環器系、リンパ系等の均衡を破るため、種々の病気を引き起こし易いことも研究されているので日々の生活の中で正しい姿勢を保つことの重要性を子供たちに是非伝えたいと思います。子供たちに心からの愛を込めて、この二つのことを教え、また私たち大人も日々努力する人間でありたいと思います。(おわり)

精神薄弱者の訓練施設 白沢通園センター開園

精神薄弱者の通園施設「白沢通園センター」が十月一日にオープンしました。同センターは、旧白沢営林署庁舎の敷地、建物を再利用するために市が購入し、このたび二百八十万円をかけて改装したものです。同センターでは、市内の更生施設に入所していない十八歳以上の精神者が対象になり、自宅から通い、作業訓練を受けながら商品の生産、組立てなどの仕事をしています。現在は、曲げわっぱ、お杉わらべなど民芸品の製作、軍手・軍足などの繊維加工品の製造、ラジオ部品の組み立て、シーツ



「スポーツの秋」 幼児体力テスト

十月は、体力づくり運動強調月間。各地区で運動会や競技会が開催されています。十月八日には市民体育館で、「幼児体力テスト」が行われ、参加したチビッコ百六十人は、連続飛び越し、上体そらしなど六種目に一生懸命取り組みました。このテストは全国規模で行われ、幼児体力の資料作成に活用されます。



「味覚の秋」 きりたんぼ講習会

きりたんぼ祭り初日の九日、青少年ホームで「きりたんぼ料理講習会」が行われました。この講習会は、伝統の味本場の味を観光客や市民に味わってもらうために市内の食堂、飲食店の方を対象に行ったものです。きりたんぼ祭りは十一月十日まで行われ、市民きりたんぼ大会や、おいしいきりたんぼづくりの講習会などが行われます。



大館市老人クラブ連合会の五連覇を祝す
第十回全県老人クラブスポーツ大会で、当市老連が見事五連覇の偉業を成し遂げました。市民と共に衷心よりお祝い申し上げます。そのご努力に敬意を表します。
「市老連強し」「熟年パワー」それだけで片づけられないで、どうしてだろうと探ってみなければなりません。強い選手を全面的に組織することが出来たことがその一つでしょう。また役員の仕事性が優れていることもあげられるでしょう。更にお盆休みも返上して、選手のみならずがトレーニングに励まれた努力の結果であり、チームに迷惑をかけてはならないという連帯性ともいえます。そして何よりも大館のためにがんばろう、五連覇を達成しようという目的意識をみんなが明確に持っていたということでしょう。
私たちは毎日、それぞれの仕事に向って精を出していますが、その仕事に正しい指導性で、連帯感・目的をもったれば、成し得た喜びと自信は、次への大きな発展と前進につながるものと考えます。
市老連の輝かしい活躍と成果は、私たちにそのことを事実をもって教えてくれたと思います。
子供会だ、生徒会だ、青年会、婦人会だという横社会だけの活動ではなく、縦社会の交流活動を組織しながらこの市老連の成果を実践を通じて生かして行かなければならないと考えます。
培った「体力」と「ルールを守る」「フォロイー合ウ」の精神は、スポーツだけでなく、社会生活全般の原理原則であり更に大きく広げ深めてまいりましょう。



移動スギの子広場

乳幼児を持つ皆さんは、家庭教育についての情報「スギの子はがき通信」や「スギの子家庭教育カレンダー」など、一度は目に触れたことがあると思います。この「移動スギの子ひろば」も同じように子供のしつけや育て方などについて、市町村を巡回して情報をお届けしたり個別相談を行うものです。き・10月25日 10時30分とこ・中央公民館
内容・講話 高山達雄氏
・個別相談
※個別相談希望の方は、市教育委員会社会教育課へお申し込みください。
☎49-3111内線255